

農業王国「市内外にアピール

豊橋百農人キッチンカー完成

12日に初披露

豊橋市の農業家らが集まり農業技術の向上や地元産農産物のブランド化を目指す「豊橋百農人」がキッチンカーを作った。12日には同市役所市民広場で初披露し、オリジナルメニューなどを販売する。時間は午前11時

30分〜午後1時で、雨天決行。

誇る豊かな作物をモノトーンで描いた。

民への周知を図る。車内には流し台と調理台を完備。冷蔵庫やコンロを置き、出来立ての料理を提供する。さらに、災害時には市の調理車として運用していく。

移動可能なキッチンカーで市内外のイベントに参加し、地元産野菜や加工品の販売、調理メニューを提供し農業王国豊橋をPRしていく。

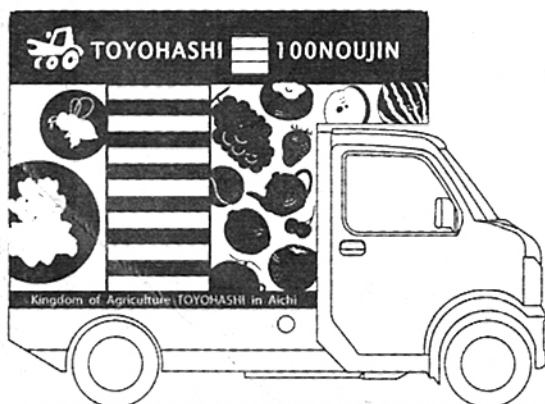
「Kingdom of Agriculture TOYO OHASHI in Aichi (農業王国豊橋)」の文字が入り、他市へ盛りな

豊橋の農業をアピールするとともに、市

車体には次郎柿やレモンなどの全国に

キッチンカーの製作と運営には豊橋市

地域農産物等ブランド化ビジネス支援事業補助金を活用。合わせて1160万円。



キッチンカーイメージ図 (豊橋市提供)

12日は、豊橋百農人オリジナルの特製丼「ねぎさら百農人ポーク丼」(600円)をはじめ、地元産イチゴとブルーベリーのスムージー「POPベリベリヨーグルト」(350円)を提供。さらに、無農薬レモンを皮ごと絞った「大人の初恋レモン」(300円)、「豊橋紅茶」(50杯、450円)、「俺の、黒カレー」(540円)も販売する。

(飯塚雪)